

一般質問



動画視聴



自由民主党市議団
森 遵 議員

子育て支援は、目標値を大幅に引き上げ、全庁一丸となって推進を

問 次期総合計画の成果指標「子育てしやすいと思っている市民の割合」の目標数値を大幅に引き上げてはどうか。

答 過去10年間の実績は50%前後で横ばいだが、子育て支援の強化に向け、できる限り引き上げる方向で検討したい。

問 第3子（3歳児未満）の保育料は、第1子が小学校に就学すると無償にならない。国の制度改善を待つだけでなく、本市において独自に実施することを検討してはどうか。

答 子供の年齢によらず保育料を軽減するよう国へ要望した上で、本市独自の負担軽減については、必要な財源等を総合的に判断し、検討したい。

問 子育て世帯の住宅支援について令和5年6月議会で質問したが、その後の検討状況はどうか。

答 これまで本市では、若年世帯や子育て世帯が、既存住宅を子育て仕様にリノベーションを行う費用の一部を補助する、県事業の「既存住宅流通・多世代居住リノベーション推進事業」の活用を案内してきた。この県事業を活用された子育て世帯に対し、市独自の上乗せ給付を行えないか、現在検討を進めている。



動画視聴



公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

子育て支援について

問 安心して子育てができる環境整備についての取組とは。

答 市民の生活スタイルや多様なニーズに応じて結婚・妊

娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実を図っている。

問 学童保育所・クラブの預かり時間延長や待機児童ゼロに向けた取組は。

答 令和5年度より預かり時間を1時間延長し、午後7時までとしている。

また、天領・三池・銀水・大牟田中央・手鎌の5校区の施設整備により、利用定員数を240人増の1,040人とする。

再発言 安心して育児と仕事を両立し、働ける柔軟な環境整備に取り組みたい。

問 児童虐待の現状は。

答 令和4年度の相談件数は926件で、そのうち児童虐待に関する相談は69件。

再発言 相談体制が重要であるため、全国共通の電話番号189（いちはやく）の周知を。

新たなごみ処理施設について

問 施設整備の今後の計画は。

答 令和10年7月供用開始に向け取り組んでいる。

再発言 市民生活に支障が生じないような施設整備を。



動画視聴



自由民主党市議団
中原 誠悟 議員

消防団の現状と今後の方向性について

問 団員が、これまでと一転し、減少傾向となった原因は。

答 数多くの社会的要因に加え、コロナ禍による活動制限

も要因の一つと考えている。

問 条例定数確保に向けた、新たな加入促進の取組は。

答 広報活動や説明会の実施に加え、災害対応や救命の知識が身につくことなどもPRし、人員確保につなげたい。

本市における救急対応について

問 特に夏場に増加する救急出動への対応状況は。

答 平日の日中時間帯のみ、日勤救急隊を臨時的に編成し運用した。今後は、福岡県救

急電話相談・医療機関案内「#7119」や、小児医療電話相談「#8000」の周知を行いたい。

おおむたアリーナでのデジタルサイネージの採用について

問 選手の鼓舞にもつながるデジタルサイネージを、アリーナ壁面に採用する考えは。

答 費用や関係法令等の諸課題の解決に向け、他都市の事例を調査・研究していきたい。

再発言 市の収入増加も期待されるため、全庁的に取り組んでもらいたい。